四日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町
編輯兼發行人　岡田弘
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町
發行所　磐城時報社
一部金弐錢一ヶ月金卅錢
廣告料一行五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

破天荒の盆踊り

青沼町長、後藤驛長 青年團共同で主催

驛前廣場に大櫓建設

全町火の海、人の波に埋る盆三日……も余すところ僅に八日

早速承諾廣場中央に大照明裝置を施して提供しやう……と素白銀、田町、南町の各青年團で晴しい力瘤の入れ方、此れに氣は例年通り櫓建設の計畫を進めを得た同町青年團は今度は青沼てゐるが、中でも白銀町青年團町長を訪れて町の後援をお願では平驛前大廣場に昨年同樣の たところ此れまた双手を擧げて大櫓を建てて幾千の踊子、幾萬の見物を此の一角に集め樣とあ賛成、結局今年は平町役場、青つて幹部會の結果代表者を擧げ年團、平驛の三者共同主催と言て驛前廣場の借り受け方を後藤ふ破天荒の大盆踊りが出現する平驛長に請願したところ後藤驛譯……その盛大さは今から非長「待つてゐました」とばかり常に期待されてゐる。

明日は七夕祭り……松焚を禁止された本町通り各町は名物松焚に代つて何か目新しい行事を……と計畫、三町目の如きは明日の七夕祭を聯合で妍を競ひ全町の人氣を呼び集め樣と裝ひ凝らして居るから今年の七夕の華さは想像の外……と思はれる。

日支事變の 勇士井上君

勳八等に叙さる

平町字四軒町陸軍歩兵上等兵井上榮一君は去四月二十九日付發表された日支事變論功行賞に際し勳八等に叙され白色桐葉章を授けられた旨發表されたが、今十四日下條賞勳局總裁より平町青沼町長宛勳記並に勳八等白色桐葉章授與傳達方を依頼された井上君の光榮と功勞を語る勳記は

昭和六年乃至九年事變ノ功ニ依リ勳八等白色桐葉章及金二百四十五圓ヲ授ケ賜フ。

本通り一帶の 松焚は絶對禁止

盆名物の松焚に代つて 明日の七夕祭

盆月に入つて早くも五日……明日全町には舊盆氣分横溢中元大賣り出しの商街は特有の活氣に包まれてゐる。

△　△　△

その盆氣分酣の折柄目下目拔の本町通りは國道の舗裝工事でゴツタ返してゐるが、ピチマル舗裝の爲め火熱に溶解の危險があるので土木監督所では盆十三日からの松焚を本町通り全般に禁止する事になり青沼町長、横山署長、小林土木所長連名で昨十三日本町通りの松焚絶對禁止を通知した……此れで盆名物平町本通りの松焚行事も今年は見られなくなつた譯。

△　△　△

愈々明日に接迫

四倉町會補欠選擧

兩候補最後の猛運動

四倉町會補欠戰も愈々明十五日に迫り長谷川、豊田兩候補死力を盡しての猛運動は全町空前の大激戰場裡と化し形勢全く混沌果して各れが榮冠を獲得するか全く豫斷を許さず豊田、長谷川兩氏當落の分岐は十票以内の僅少の差で決するものと見られてゐる。即ち兩候補の中豊田耕作氏は正義熱血の士として知られ前回苦盃を嘗めた点で擧町同情の聲が溢れてゐるもの、長谷川宙次郎候補亦思はざる失格の合戰と言ふ点で可成の優勢を持してゐる。兩候補相伯仲の現勢力が明日の審判を前に如何に變轉するか頗る注目されてゐる

木清俊（三六）は四日から山田村大字山田會田炭礦に雇はれたが九日夜販賣部から足袋、石鹸その他日用品數十点十七圓分を窃取した事發覺十二日植田署に檜領一件を自白した。

全町の同情

翕然豊田氏に集る

長谷川派の進出に押され

苦戰を續ける豊田派

（別項）多數同志の應援を受けて敢然出馬した豊田候補はその後全町に亘り猛烈な運動を續けてゐるが期日の接迫に連れ數同當選の經驗を有する選擧上手な長谷川候補の奇襲に意外の苦況に陥り依然苦戰を續けてゐるが、豊田耕作氏擁立派は前回落選の苦盃を喫してゐる同氏を再び敗辱に慟かしむるやうな事があつてはと各れも悲壯な運動を續けて居り熱血正義稀れに見る愛町の士と言はれる豊田候補苦戰の悲報に全町の同情翕然と集りつゝあるから長谷川候補との一騎打は注目される。

▲胡鼠泥御用

夏井村鈴石城販賣利用組合總代人選擧は來る廿日全管内一齊に執行されるが、投票區並に投票場總代人定員は次の如くである。

△平町二名△江名町一名△草野村、神谷村二名（草野）△大浦村三名△四倉町三名△赤井村一名△大野村一名△大久村久之濱、木戸、廣野村二名（大久）△高久村、夏井、飯野村豊間村一名（高久）△鹿島村小名濱町、玉川村一名（小名濱△磐崎村、湯本町内郷村一名（磐崎）△好間村、永戸、三阪、川前、平窪一名（好間）△小川組合村三名、計二十一名

石城販賣利用組合 總代人總改選

名簿確定二十日執行

初秋繭出廻

四倉繭市

二十六日開場

地方初秋繭は大体二十五、六日頃から出廻り初めるものと觀られてゐるので四倉繭市場は來二十六日開場と決定した。繭價は現在糸價から推して大体一圓五六十錢見當、取引高も前年に比較して二割程度の減少ではないかと豫想される。

金庫破り？

水澤署の手配で 平署で檢擧

平署では岩手縣水澤警察署の依頼により岩手縣上閉伊郡釜石町生れ當時住所不定無職大塲鐵雄（二二）が十三日好間村字町田遠藤忠三方に立廻つた處ろを張り込み檢擧、通知により水澤署から大貫部長刑事平署に出張大塲を護送水澤に歸署した。犯罪の内容は不明だが去月中水澤町某商店の金庫を破り巨額の金品を窃取したものであるらしい。

中山支店長 新任挨拶

常磐銀行平支店長に榮轉した中山毅雄氏は十二日來任十三日から今十四日にかけて在平諸官公衙、新聞社、同支局その他關係方面を歴訪就任の挨拶を爲した

老賊逮捕の 四名表彰

今十四日發表

（既報）前科七犯の老賊逮捕に重傷を負つた平町大舘農中村富次郎、渡邊仁三郎の經過頗る良好で既に快復したが、今十四日付縣刑事協會長より警察部長から各二圓宛の賞與並に村は八圓、渡邊は三圓の治療金を授與された。尚爾名と協力逮捕の功により古川汎治、草野庄太郎の兩名も金一圓を授與表彰された。

三澤隧道 改修陳情

川部、勿來間三澤地内延長四十メートル高さ四メートルのトンネルは内部に亀裂を生じ屢々崩壊且天井の低いので大形自動車及び積荷量の多い車馬が通れぬので既報の如く關係兩町村長から縣當局にこれが改修方を陳情したが、昨今の降雨つゞきに亀裂崩壊甚だしく危險なので赤津勿來町長は十二日平土木監督所に右改修方を陳情した。

植田軍優勝

大津軍惜敗

炎天下の熱戰

植田町野球協會主催第四回野球大會は昨十二日午前八時から擧行、炎熱下に物凄い決戰を展開したが次の如き戰跡で植田チーム優勝した

準決勝
植田ASC 6—5 勿來
大津 7—6 平潟

決勝
植田ASC 10—2 大津

入山坑落盤

坑夫一名慘死

湯本町字日清居住入山炭礦坑夫園井林之助（三九）は昨十日午後九時頃同炭礦第六坑に入坑作業中俄然一大落盤あり下敷となつて慘死した、平署草刈部長出張檢視の上で屍体は家人に引渡した。

電話六四〇番
皆様のタクシーへ
此度は夏にふさはしいすがゝしい色彩の……
ニーワクション裝置
新車が入車致しました
自動車の御用命は電話六四〇番を
御呼び下さる皆様を新車と共に從業員一同
御待ち申して居ります。
車も揃ひましたから遠乘の御用には
特に御相談に應じます。
平町二丁目　尼子タクシー
電話六四〇番

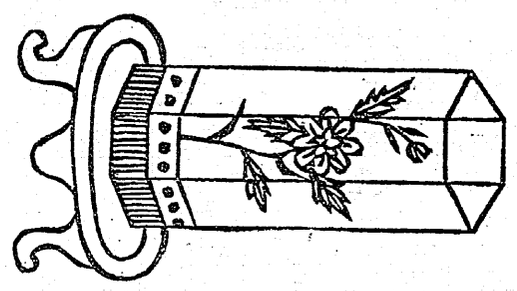
◎◎◎水は魚清!!
電話四六七番へ
本店　平二丁目警察署通り　魚清氷卸部
支店　江名町築港内　江名販賣所　電話六九番

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九九番

海
水着
水洋品
●34年型。豐富に取揃ひました。御批評下さいまし…●
御好評の
婦人子供服
獨特の型。生地。お値段
中野洋品店
平二・電五三

吸入用酸素!!
純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
◎秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
◎寫眞機材料一式
開内藥局
電話四〇番

歯科
平町古鍛冶町九一
神谷齒科醫院
神谷辰夫


業界花形一個特價十錢
今ガラス
花瓶
水差
臺中の御賜品に
御集會に
納涼に
(大時間は保ちます 長サ本一尺五寸十錢)
電話二二八・三二番
氷

腫物、おでき切らずに治る
ハレモノ薬　八方散
良
平一(電六九九)　水野藥局

内科一般

川井内科診療所
川井安子
平町南町六五(舊宅)
電話二四三番

謹啓　時下盛夏の候貴下益々御清榮之段奉大賀候陳者本月十五日執行せらるゝ當町々會議員再選擧に際し

長谷川寅次郎氏を候補者に推薦仕り候御承知の通り同氏は今回栗原氏提出の訴願事件の爲め失格し再び選擧場裡に臨むのやむなきに至りたるものにして眞に同情に堪ず同氏は人格嵩高識見卓越し不變不黨嚴正中立を持し過去十七年間町會議員として幾多の功績を現し居る事は既に各位の認め居る處なり依て茲に下名等政黨政派を超越し一切の情實を捨て同氏を推薦し誓て其當選を期する次第に御座候
如斯次第に有之候へば何卒貴下の御支援と熱烈なる御同情を以て下名等の所期の目的を達せしめられ度茲に謹みて奉悃願候

昭和九年八月　敬白

推薦者

吉田彌十郎
植田萬治郎
面川龜之助
大和田安太郎
須藤久太郎
菅波末吉
小湊宗吉
吉田壽三郎
長谷川酉次郎
金成岩吉
長谷川長太郎
鈴木幸次郎

責任者　四倉町字新町七十四番地　吉田彌十郎